

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	高校生の留学促進	担当部局庁	初等中等教育局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度～	担当課室	国際教育課	国際教育課長 中井 一浩				
会計区分	一般会計	施策名	XⅢ-1 国際交流の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	生徒の異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地方公共団体や高校生の留学・交流を扱う民間団体等が主催する海外派遣プログラムへ参加、もしくは個人留学する高校生を対象に、都道府県を通じて支援する。支給対象とする留学は、原則1年間、外国の正規の中等教育機関(高等学校等)に通うものとする。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	32	29.3	27.4	205.6	242.9	
		補正予算	187	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	219	29.3	27.4	205.6	242.9	
	執行額	212	29.3	27.4				
執行率(%)	96.5%	100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21、22年度		目標値 (24年度)	
	高等学校等における海外派遣生徒数・留学(3ヶ月以上)		成果実績	人	3,190	—		対前回調査比増
			達成度	%	維持	—		
	高等学校等における海外派遣生徒数・研修旅行(3ヶ月未満)		成果実績	人	27,025	—		対前回調査比増
		達成度	%	維持	—			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	国の留学経費の一部支援を受けて、留学した生徒の数		活動実績 (当初見込み)	人	373	54	50	300
					(54)	(50)	()	
単位当たりコスト	(547,240 円/人)		算出根拠	(27,362,000/50人) 平成23年度実績額/支援金の対象者数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	国際文化交流促進費補助金	205.6百万円	242.9百万円	日本再生戦略における高校生の留学促進等に関する提言を踏まえ、留学支援金対象人数を拡大したことによる増				
	計	205.6百万円	242.9百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>・本事業は、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与するものであり、グローバル人材の育成に効果があるものである。グローバル人材の育成は、これからの国際社会で我が国が生き抜くために必要な、優先度が高いものである。</p> <p>・高校生の留学・交流が、地方による偏りが生じないように、国が実施していくべきものである。</p>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>・支出先については、平成23年度までは全国高校生留学・交流団体連絡協議会の実施する海外派遣プログラムに参加する高校生(個人)に対して補助を行ってきたが、このプログラムに参加する高校生の数には限度があり、さらに高校生の留学を促進するため、平成24年度からは各都道府県を通じ、留学する高校生(個人)に対して補助することとし、支出先の選定は妥当である。</p> <p>・補助金の交付決定に当たっては、高校生の留学経費及びそれにかかる経費であることを厳正に審査している。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>・本事業は、留学する高校生に対する補助なので競争にはなじまず、補助金という形で実効性の高い手段となっている。</p> <p>・本事業の補助に対するニーズは高く、活動実績も高水準である。</p>
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	<p>本事業の支出先については、平成23年度までは全国高校生留学・交流団体連絡協議会の実施する海外派遣プログラムに参加する高校生(個人)に対して補助を行ってきたが、このプログラムに参加する高校生の数には限度があり、さらに高校生の留学を促進するため、平成24年度からは各都道府県を通じ、留学する高校生(個人)に対して補助することとした。</p> <p>平成24年度予算については、前年度の執行状況も踏まえ、見直しを図った。平成23年度の留学経費は、50万円で50人の高校生へ支援したが、平成24年度予算では、高校生の留学等を通じたグローバル人材育成のための取組拡充の一環として、対象人数を300人とした。今後も、限られた予算の範囲内で、高校生の留学が促進されるよう実施していく必要がある。</p>
	—		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>1. 事業評価の観点:この事業は、国際交流の推進を図るため、民間団体が実施する高校生の派遣プログラムに参加する生徒のうち、学資補填を必要とする家庭の子女で成績優秀である者を対象に、留学経費の一部を支援するため、同団体からの申請に基づき、留学支援金、支援対象者選考経費等を補助する事業であり、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、平成15年度から行っている長期継続事業であり、今後も高校生の交流の推進を図るため引き続き実施すべき必要な事業であるが、事業の成果・必要性・有用性についての検証を行うことにより、事業内容を再点検し、事業を再構築するなど改善すべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善		<p>本事業については、平成24年度より、事業実施主体を高校生留学・交流団体から都道府県へと変更し、事業の効果的・効率的な実施を図ったところ。その結果、支援対象者が拡大し、限られた財源の中で幅広い支援が可能となった。日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)等における高校生留学の促進等に関する提言を踏まえ、平成25年度概算要求では、高校生の留学者数を増加させる観点から事業を「重点要求」として再構築。</p>	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>・教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定) http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/080701/002.pdf</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	0133

※平成23年度実績を記入

文部科学省
27.4百万円

高校生の留学・交流を扱う民間団体が主催する海外派遣プログラムへ参加する高校生を対象に、1人50万円※を支援する。支給対象とする留学は、原則1年間、外国の正規の中等教育機関(高等学校等)に通うものとする。
※平成24年度からは、1人40万円を各都道府県を通じて支援。



【補助】

国際文化交流促進費補助金：
27.4百万円
A. 全国高校生留学・交流団体連絡協議会



【支給】

留学支援金：
25百万円
B. 留学する高校生(個人)(50名)

〔 ※留学支援金として、1名あたり、50万円を支給 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

A.全国高校生留学・交流団体連絡協議会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
留学支援金	個人給付	25.0			
印刷製本費	要覧作成費等	1.4			
通信運搬費	要覧発送料、合否通知送料等	0.7			
諸謝金等	審査員謝金、支援金手続き等の補助者賃金、支援金振込手数料	0.3			
計		27.4	計		0
B.留学生(個人)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
留学支援金	派遣プログラム参加費への充当	25			
計		25	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国高校生留学・交流団体連絡協議会	支援対象者の募集・選考、留学支援金の支給 等	27.4	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(50名)	(派遣プログラム参加費への充当)	25	—	—

※補助事業である。